

学友会会誌 Vol. 33 目次 -2013年12月発行-	執筆者(敬称略)	肩書
総会特別講演		
ナノスペースでの生命のしくみ	難波 啓一	生命機能研究科 プロトニックナノマシン研究室 教授
シンポジウム基調講演		
国のがん対策と地域医療連携	門田 守人	がん研究会明病院 院長・阪大名誉教授
	左近 賢人	大阪府立成人病センター 院長
	野口眞三郎	乳腺・内分泌外科学 教授
	北川 透	医療法人 協和会 理事長
	荻原 俊男	森ノ宮医療大学 学長・阪大名誉教授
生涯教育講座『iPS医療の最前線』		
①臨床応用に向けたiPS細胞技術の開発	中川 誠人	京都大学iPS細胞研究所 初期化機構研究部門 講師
②iPS細胞を用いた血小板作製の意義	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 教授
③細胞から臓器へ；iPS細胞から臓器を創る	中内 啓光	東京大学医科学研究所 幹細胞治療研究センター JST・ERATO 中内幹細胞制御プロジェクト 教授
④骨格筋筋芽細胞シートによる心筋再生治療	澤 芳樹	心臓血管外科 教授
⑤角膜再生～体性幹細胞からiPS細胞へ～	林竜平・西田幸二	眼科学 助教、教授
⑥iPS細胞を用いた脊髄再生医療の展望	中村 雅也	慶應義塾大学医学部 整形外科学 准教授
⑦iPS細胞を用いたパーキンソン病治療	高橋 淳	京都大学iPS細胞研究所 臨床応用研究部門 教授
⑧iPS細胞技術を用いた神経再生・疾患研究	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部 生理学教室 教授
⑨iPS細胞を用いた網膜細胞治療	高橋 政代	理化学研究所 発生再生科学総合研究センター 網膜再生医療研究開発プロジェクト リーダー
⑩細胞培養装置の動向	紀ノ岡正博	工学研究科 生命先端工学 教授
特集『死因究明制度について』		
①はじめに	松本 博志	法医学 教授
②わが国の死因究明制度について	吉田 謙一	東京大学大学院医学系研究科 法医学・医事法学講座 教授
③大阪府監察医事務所における監察医業務	中間健太郎	大阪府監察医事務所 監察医
④診療関連死の第三者機関について	奥村明之進	呼吸器外科学 教授・日本医療安全調査機構 大阪地域代表
⑤死因究明の法制度について	田中 圭二	香川大学名誉教授・滋慶医療科学大学院大学教授、弁護士
⑥死亡時画像診断Autopsy imaging (Ai)の有用性とその限界～大阪大学法医学教室での経験から～	飯野 守男	慶應義塾大学医学部 法医学教室 准教授
⑦院内死亡における予期しない死亡または死因不明症例への対応と考え	服部 高子	中央クオリティマネジメント部 特任助教
⑧院内死亡における解剖の有用性	森井 英一	病態病理学・病理部長 教授
⑨警察医と死因究明制度	河野 朗久	医療法人河野外科医院 理事長・大阪府監察医・大阪府警警察医
⑩大規模災害における死因究明について	黒木 尚長	千葉科学大学危機管理学部 医療危機管理学科 学科長・教授
⑪これからの死因究明人材育成について	松本 博志	法医学 教授
『地域医療に関する研究助成報告』		
①急性胆嚢炎における地域連携クリニカルパスの構築と低侵襲手術の実践	浅岡 忠史	独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 外科医師
②肛門括約筋温存手術後の肛門機能評価-肛門内圧検査の意義-	金 浩敏	独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪労災病院 外科医師
③性犯罪被害者に処方した緊急避妊薬、抗生物質の追跡調査	高田 友美	(探択時) 大阪警察病院 産婦人科 副医長 (現) 産科学婦人科学 助教
④抗がん医療と緩和医療の融和を目指した新たな地域がん病診連携を目指して	東口 将佳	(探択時) 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 肺腫瘍内科 医員 (現) 呼吸器・免疫アレルギー内科学 院生
『寄稿』		
長寿解體～学友会名簿から～	大城 孟	おおしろクリニック 院長
『編集後記』		
	竹田 潤二	会誌編集委員長・環境・生体機能学 教授